

2016年7月15日

デルタ航空、「ラブハワイコレクション 2016 in 常滑」に出展

2016年7月23日(土)、24日(日)の二日間

中部国際空港セントレアとホノルルを結ぶ直行便をPR、記念写真サービスやグッズが当たるイベントも

【名古屋、2016年7月15日】 - デルタ航空(NYSE:DAL)は、7月23日(土)、24日(日)の二日間に、地域活性化プロジェクト「CHITA CATプロジェクト」主催で開催される「ラブハワイコレクション 2016 in 常滑」に出展します。名古屋とホノルルを結ぶ直行便の利便性と充実の機内サービスを紹介し、中部からハワイへの旅行需要を喚起し、デルタ航空便の利用促進を図ります。

イオンモール内、ノースコートに設けるデルタ航空ブースでは、ホノルル空港のデルタ航空カウンターで働くスタッフが来日し、客室乗務員や日本オフィスのスタッフと共に、日本語機内誌や特製うちわ、ハワイをテーマにした塗り絵(数量限定)を配布します。また、大空や飛行機をデザインしたパネルを背景に写真を撮って、SNSに投稿するとフォトカードがもらえるキャンペーンを実施します。

撮影の際には、飛行機型フレームやフォトプロップなど撮影用の小物を自由にお使いいただけます。ご自身のスマートフォンで撮影した写真を、SNS上でハッシュタグ「#デルタ航空でハワイ」をつけて投稿すると、その場で投稿写真をフォトカードにして差し上げます。さらに、フォトカードに当たりのマークがついていれば、デルタ航空ロゴ入りTシャツを着たテディベアや、組み立てると飛行機になるブロックなどをプレゼントします。

また、ブース近くの「ハワイ旅行ステージ」では、23日、24日の両日とも13:30から、デルタ航空で行くハワイの魅力をクイズを交えてご紹介し、クイズ当選者に記念品をお渡しします。



デルタブースのデザイン(イメージ)

ラブハワイコレクション 2016 in 常滑について

ラブハワイコレクション 2016 in 常滑は地域活性化プロジェクト「CHITA CATプロジェクト」の取り組みの第3弾として、イオンモール常滑・中部国際空港セントレア・りんくうビーチで同時開催される入場無料のイベントです。「CHITA CATプロジェクト」は知多半島の地域活性化を目的に2015年11月に発足した、イオンモール(株)と中部国際空港(株)、知多半島・常滑地域の趣旨に賛同する自治体、企業、団体等との共同プロジェクト。「Love HAWAII Collection(ラブハワイコレクション)」は2010年に横浜でスタートし、今年で7年目を迎えるイベントで、東海エリアでははじめて実施するものです。知多半島(日本)とハワイの文化を見る・体験する・参加する・まなぶ・楽しむ!を目的とする参加型の文化交流イベントで、本イベントを通じ、知多半島の地域活性化はもちろんのこと、空港隣接都市の特性を生かした国際交流を推進することで、新たな文化の創出、知多半島・常滑の認知度向上に寄与するとなる国際的なイベントを目指して実施されます。イベント詳細は公式サイトをご参照ください。http://hawaii.jp/event_lhc_tokoname2016.html

デルタ航空について

デルタ航空は年間約1億8,000万人近くの搭乗者数と広範なネットワークを持つ航空会社です。フォーチュン誌の「2015年世界で最も賞賛される企業リスト」の航空業界部門(2015 World's Most Admired Companies Airline Industry List)において、6年間で5度目の1位を獲得し、「世界で最も賞賛される企業」トップ50社にも選ばれたほか、米ビジネスラベルニュース誌調査で初の5年連続トップに選ばれました。デルタ航空およびデルタ・コネクションは、世界61カ国、330都市に向けてフライトを運航しています。米国ジョージア州アトランタに本社を置き、世界で8万人近い従業員を擁し、800機以上の主要機材を運航しています。航空連合(アライアンス)「スカイチーム」の創立メンバーであり、大西洋路線においてはエールフランス-KLM、アリタリア-イタリア航空、およびヴァージン アトランティック航空と共同事業を展開しています。アトランタ、ボストン、デトロイト、ロサンゼルス、ミネアポリス/セントポール、ニューヨーク(ラ・ガーディアおよびJFK)、ソルトレイクシティ、シアトル、アムステルダム、パリ(シャルルドゴール)、ロンドン(ヒースロー)、東京(成田)をハブ空港および主要マーケットと位置づけ、提携航空会社と合わせて一日に1万5,000便以上のフライトを運航しています。機内および空港での顧客エクスペリエンスの向上を目指し、空港施設や機内プロダクトの改善、サービス向上とテクノロジー導入に数十億ドルを投資しています。詳しくはホームページ delta.com をご覧ください。

<報道関係者お問い合わせ先>

デルタ航空太平洋地区広報部 岡田 / 松元

電話 03-5400-7145 e-mail: APACCommunications@delta.com 日本語ニュースルーム <http://news.delta.com/japanese/news>

添付資料:

デルタ航空名古屋－ホノルル線の機内サービス

ビジネスクラス「デルタ・ワン」



「デルタ・ワン」のフルフラットベッドシートとウェスティンホテル開発のヘブンリー寝具



和食コース、洋食コースが選べるお食事、空の旅用にセレクトされたプレミアムワイン等



TUMI のアメニティキット

長距離国際線の最上級クラスとなる「デルタ・ワン」のお客様には、チェックインから空港ラウンジの利用、搭乗まで、全ての過程で優先サービス提供します。ご搭乗後のウェルカムドリンクは、通常のシャンパン、オレンジジュースに加えて、ハワイ便では特別にマイタイをご用意しています。座席は、全席が通路に直接出られる設計で、完全に水平になるフルフラットベッドシートです。1-2-1 の座席配列ですので、中央の隣り合った 2 席はハネムーンやご家族でのご旅行にご利用いただけます。ホノルルまでの約 8 時間の空の旅を、フルフラットのお席、和洋選べるコース料理、一流のワインとリキュール類、ウェスティンホテル開発のヘブンリー寝具、TUMI のアメニティキット、最新のオンデマンド型機内エンターテインメントシステム「デルタ・スタジオ」と共に快適にお過ごしいただけます。

エコノミークラス「メインキャビン」



メインキャビン



全座席に設置された充実の機内エンターテインメントシステム「デルタ・スタジオ」



スリープキット

エコノミークラス「メインキャビン」では、ご出発後すぐに、日本語メニューとスリープキットをお配りします。メニューには、いつもお食事が提供されるかを示すイラストや、機内サービスのスケジュール、お食事とお飲み物のリストを記載しています。スリープキットにはアイマスク、耳栓、イヤホンが入っており、快適な睡眠をサポートします。なお、機内エンターテインメントシステム「デルタ・スタジオ」は、全席個人用モニターで充実のラインナップを無料でお楽しみいただけます。

足もとが広くリクライニングが深い「デルタ・コンフォートプラス」

足もとが約 10 センチ広く、リクライニング角度が 1.5 倍になる「デルタ・コンフォートプラス」では、優先搭乗のサービスや、専用の頭上の荷物棚が用意されるほか、アイマスク、耳栓、イヤホン、歯磨きセット入りのアメニティキットが提供されます。

